科目名     キャリアガイダンス(688)       担当教員     大内 香那子・梅村 泰成       「大内」求人情報会社にて採用コンサルティングに従事したのち、企業人事として多くの学生の選考に携わった後、キャリアコンサルタント・研修講師として活動を行っている。キャリアデザイン・ビジネスマインドセット・コミュニケーション活性を専門としており、これらの経験を活かして本授業の将来を考え、就活に前向きになるしくみを構築している。「梅村」放送業界で制作を経験してきた。培った編集の知識・技術を活かし講義する。       週授業時間数     1年次 2年次 3年次 4年次 の知識・技術を活かし講義する。	人口教授守门际	生の多か	1/11/4			
担当教員	科目名	キャリアガ	イダンス(68	38)		
2   1 + 以 2 + 以 0 + 以 1 + 以 0 知識・技術を活かし講義する	担当教員	大内 香那	子・梅村 🦠	泰成		[大内] 求人情報会社にて採用コンサルティングに従事したのち、企業人事として多くの学生の選考に携わった後、キャリアコンサルタント・研修講師として活動を行っている。キャリアデザイン・ビジネスマインドセット・コミュニケーション活性を専門としており、これらの経験を活かして本授業の将来を
時間数 - 2	週授業	1 年次	2 年次	3 年次	4年次	
	時間数	-	2	-	_	ひ知峨・1又附を伯かし碑袋りる。

科目のねらい・到達目標

仕事をしていく上で必要となるビジネススキル向上を目的とするとともに、就職活動がスムーズに進めることができ るよう、様々な準備を行う。社会人として求められる最低限のコミュニケーション能力と、社会人として持っている べき常識および、ふさわしい行動をとれる能力を身につけていく。

補助教員なし 授業形態 演習 教 室 161 教室

就職活動がスムーズに進めることができるよう、様々な準備を行う。社会人として求められる最低限のコミュニケー ション能力と、社会人として持っているべき常識およびやふさわしい行動をとれる能力を身につけていく。

教科書 仕事力を身に付ける20のステップ FOM出版 富士通エフ・オー・エム株式会社 著 (毎授業で使用) 教 材

#### 授業計画 • 内

#### ●授業時間:2単位時間/回

【前期】

1~2 回 授業の目的と振り返りシートの理解、就職活動への意識を高める

3~4回 就活とコミュニケーションのつながりを理解する、挨拶の大切さ①

5~6回 意見をつくる個人ワーク

意見交換実践のグループワーク 7~8回

自己理解、仕事理解、グループでの調ベワーク 9~11 回

12 回 グループワークを活かし、専門学校での学びのつながりを考える

自己 PR が必要な理由 13~14 回 15 回 自己 PR 作成ワーク

16 回 前期の振り返りと自己 PR 作成の好事例共有 → 修正してみよう

# ●授業時間:2単位時間/回

評価コード 11

【後期】

社会人とは・学校と職場の違い、学校での過ごし方で意識すべきこと、挨拶の大切さ② 組織内でのコミュニケーションにつながる学校内での過ごし方 1回

2回

グループ制作と発表(プレ社会人としての、学校での過ごし方の工夫) 3 回

就活スケジュール確認と先輩への質問を考えるワーク、グループワークの説明 4 回

5~7回 就職活動トークセッション、グループ制作と発表

ビジネスマナーってなんだろう 8 回

正しい敬語を身に着けて、就活シーンに活かそう 9 回

履歴書とエントリーシートの書き方、応募書類の書き方 10~11 回

面接官は何をみているのか、面接で自分を表現する準備をしよう、面接体験をしてみよう 12~14 回

15~16 回 1年間での成長変化・卒業後どうなっていたいか、考えよう ガクチカを作成しよう

山   一	
評 価 方 法	・100 点を満点とし、筆記試験を 60 点、平常点(出席および受講の状況)を 40 点の配点とする。 ・通常の授業における演習をもって定期試験に代える場合は、その旨を事前に周知のうえで授業での 演習をその都度評価する。 ・成績の評定は、定期試験開始前日までにそれらの平均とする。
п ш // гд	供首をての部及計画する。

2410-0025 01-196	1 / 1/M/ /	1 / 11 - 1					
科目名	映像リテラ	S/ (A9E)				教科区分	専門教育科目
件日石	一	✓—(AZ3)				必修 / 選択	必 修
						実 務 経 懸	<b>产</b> 内 容
担当教員	山田慎				[山田]ゲー	ーム会社在籍時に	上企画部署に所属してお 「記述」
, ,,,,,					り、プロデュ   関係 独立谷	.ーサーの佣助者 ま. 多くのプロジ	としても IP ビジネスに ェクトに参加しており、
					大学 オイル	こり多くのプログ	エノ「に参加しており、
週 授 業	1 年次	2 年次	3 年次	4年次	本 役 界 仕 教 身	貝となるまで、ク~2020年11182	デームビジネスの実務とは行政書士として法実務
時間数	_	2	_	_	関わってさん		*11以音エこして伝天伤
	•	科	且のわ	6 10 .	到達日	/ / /	

映像制作における映像リテラシーの基礎を学ぶことで、映像制作の過程において必要な教養を養う。また、社会情勢や世の中の流行を学び、時代の流れに沿った映像表現や映像についてのリテラシーを身につける。

授業形態 161 教室 補助教員 なし 講義 教 室

映像制作における映像リテラシーの知識を基本的に講義形式で行っていく。必要に応じて課題を提示し、レポートを 作成させ、提出させる。

教科書 教 材 はじめて学ぶ 映像コミュニケーション 福村出版 長野真一/増本貴士 著(その他関連資料を適宜配 布)

#### 授業計画 • 内容

## ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

- 1~2回 演出導入
- 2~4回 5W2Hとは
- 5~ 6回 報連相について 7~ 8回 現場におけるコミュニケーションについて
- 9~10回 映画における演出方法
- 11~12回 作品の権利について 13~14回 シチュエーションごとの演出
- 15~16回 前期まとめ

### ●授業時間:2単位時間/回

# 【後期】

- 7~18回 前期の復習と後期の説明
- 19~20回 CMの演出方法
- 21~22回 PV, MV, VP などの違い
- 23~24回 報道番組の演出方法
- 25~26 回 ドキュメンタリー番組の演出方法 27~28 回 バラエティ番組の演出方法 29~30 回 ドラマの演出方法

- 31~32回 後期まとめ

・定期試験 (100 点満点) の点数を成績の評定とする。筆記試験を 80 点、平常点 (出席および受講の状況)を 20 点の配点とする。成績の評定は、S (90~100 点)、A (80~89 点)、B (70~79 点)、C (60~69 点)、F (60 点未満)である。定期試験が受験できなかった及び評定がFの場合、追試験を受験する。 ・追試験 (100 点満点)の点数は、次の (1)または (2)とする。 (1)出席停止となる疾病(医師の診断書のある者)および通院が証明できる病欠、公共交通機関の遅滞等による者(証明書のある者)ならびに、公欠が認められた日時に定期試験を受験できなかった場合は、60点まではその点数とし、60点を超えた場合は、60点を超えた分の点数の 10分の6に60点を加えた点数とする。 (2)上述 (1)以外の場合は、60点まではその点数とし、60点を超えた場合は 60点とする。	評価コー	K	3	
・前期末試験および後期末試験を実施した場合、各期で確定した点数の平均(1点未満については切			状(60~6 満ので) (60~6 満ので) (70~6 満年 11)に、6 で) (70~6 11)に、7 で) (70	を 20 点の配点とする。成績の評定は、S (90~100 点)、A (80~89 点)、B (70~79 点)、C (90 点)、F (60 点未満)である。定期試験が受験できなかった及び評定がFの場合、追試験を (50 点満点)の点数は、次の(1)または(2)とする。 (60 点満点)の点数は、次の(1)または(2)とする。 (70 点満点)の点数は、次の(1)または(2)とする。 (70 点満点)の点数は、次の(1)または(2)とする。 (71 病停止となる疾病(医師の診断書のある者)および通院が証明できる病欠、公共交通機関の遅よる者(証明書のある者)ならびに、公欠が認められた日時に定期試験を受験できなかった場 (70 点まではその点数とし、60 点を超えた場合は、60 点を超えた分の点数の 10 分の 6 に 60 点 に点数とする。 (20 点を超えた場合は、60 点を超えた場合は 60 点とする。

人口公民可口的	TE 10 (10) /	1 / 41 4 1					
科目名	コミューケ	ーション論(	(193)			教科区分	専門教育科目
作自石	コミュニク	ノョノ冊(	(A23)			必修 / 選択	必 修
						実 務 経 懸	魚 内 容
担当教員	梅村泰成	•			[梅村]放送第	<b>美界で制作を経</b> り	<b>倹してきた。培った編集</b>
32400	1413 20,000	•			の知識・技術	うを活かし講義す	<b>る</b> 。
週 授 業	1 年次	2 年次	3年次	4年次			
時間数	-	2	_	_			
		私	日のわ	6 10 •	到	趰	

コミュニケーションの基礎から応用まで学ぶことで、感情表現を的確に読み解くことや、映像制作の過程において必 要なプレゼンテーションなどのスキルを養う。

教室 講義 \_\_ 補助教員なし 授業形態 161 教室

映像制作におけるコミュニケーションの知識を基本的に講義形式で行っていく。必要に応じて課題を提示し、課題を 作成していく。プレゼン資料などを最終的に各自で作成させ、提出させる。

教科書 教 材

はじめての情報メディア コミュニケーションリテラシー 技術評論社 柴岡信一郎著(その他関連資 料を適宜配布)

# 授業計画 · 内容

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

1~ 4回 コミュニケーションの基礎

5~10回 コミュニケーションの実践技法 11~16回 プレゼンテーションの基礎・応用

#### ●授業時間:2単位時間/回

## 【後期】

評価コード

17~18 回 前期の復習 19~24 回 コミュニケーションの応用

25~32回 各テーマに基づいた企画書作成

	-   ・定期試験(100 点満点)の点数を成績の評定とする。筆記試験を 80 点、平常点(出席および受講の
	│ 状況)を 20 点の配点とする。成績の評定は、S (90~100 点)、A (80~89 点)、B (70~79 点)、C
	│ (60~69 点)、F (60 点未満) である。定期試験が受験できなかった及び評定がFの場合、追試験を
	│ 受験する。
	▶・追試験 (100 点満点) の点数は、次の (1) または (2) とする。
=== /== -1= \/L	(1) 出席停止となる疾病(医師の診断書のある者)および通院が証明できる病欠、公共交通機関の遅
評価方法	帯等による者(証明書のある者)ならびに、公欠が認められた日時に定期試験を受験できなかった場
	│ 合は、60 点まではその点数とし、60 点を超えた場合は、60 点を超えた分の点数の 10 分の 6 に 60 点
	│ を加えた点数とする。
	(9) 上述 (1) ピカの担合け 60 占までけるの占数 レー 60 占も初うを担合け 60 占しする

(2) 上述 (1) 以外の場合は、60 点まではその点数とし、60 点を超えた場合は 60 点とする。

・前期末試験および後期末試験を実施した場合、各期で確定した点数の平均(1点未満については切

り上げ)を成績の評定とする。

人口公民门门於	1上 ツ() () / /	1 / 11 4 1							
科目名	14.46 コンプ	゚ライアンス(	(126)				教科区分	専門教育科目	
件日石	吹豚コンフ	ノイノンへ	(AZO)				必修 / 選択	必 修	
							実務経懸	內 容	
担当教員	山田 慎				[山日	[山田]ゲーム会社在籍時に企画部署に所属しており、プロデューサーの補助者としても IP ビジネスに			
, ,,,,,,					り、フ	ロアユ	ーサーの舗明者 ま名とのプロジ	としても IP ピンネスに ェクトに参加しており、	
							ロシマンフロン	エノー(に参加してもり、	
週 授 業	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	■ 本校具	界仕教員 ってきた	!となるまで、ク ・ 2020 年以際♪	デームビジネスの実務と は行政書士として法実務	
時間数	_	2	-	_		つってい		対し、以言エこして伝天物	
		科	目のね	らい	<ul><li>到</li></ul>	達 月	標		

映像制作におけるコンプライアンス・各種法令・著作権などの基礎から応用まで学ぶことで、映像制作の過程におい て必要な教養を養う。

授業形態 教 室 161 教室 補助教員 なし 講義

映像制作におけるコンプライアンス・著作権の知識を基本的に講義形式で行っていく。必要に応じて課題を提示し、 レポートを作成させ、提出させる。

教科書 教 材 はじめて学ぶ映像コミュニケーション 福村出版 長野真一/増本貴士著(その他関連資料を適宜配 布)

# 授業計画 · 内容

## ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

- 1~2回 演出導入
- 2~4回 5W2Hとは
- 5~ 6回 報連相について 7~ 8回 現場におけるコミュニケーションについて
- 9~10回 映画における演出方法
- 11~12回 作品の権利について 13~14回 シチュエーションごとの演出
- 15~16回 前期まとめ

### ●授業時間:2単位時間/回

#### 【後期】

- 17~18回 前期の復習と後期の説明
- 19~20回 CMの演出方法
- 21~22回 PV, MV, VP などの違い
- 23~24回 報道番組の演出方法
- 25~26 回 ドキュメンタリー番組の演出方法 27~28 回 バラエティ番組の演出方法 29~30 回 ドラマの演出方法

- 31~32回 後期まとめ

評価コード	3	
評価方法	状況)を20点の配 (60~69点)、F 受験する。 ・追試験(100点満 (1)出席停止とな 滞等による者(証明 合は、60点までは を加えた点数とする (2)上述(1)以タ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

7 10 10 XX 11 1 1 W	11. 0(0)/ /	1 / 11 2 1					
科目名	演出論(910	1)			教	対 科 区 分	専門教育科目
71 11 71	1英山岬(310	''			业	公修 / 選択	必 修
					実	務 経 騎	內 容
担当教員	川崎 慎也				[川崎]シナリオ で長年構成・台	ライターとし 太を担当 ゼ	、てテレビ・ラジオ番組 そってきた演出力で講義
					する。	77 L	10000000000000000000000000000000000000
週 授 業	1年次	2 年次	3 年次	4 年次			
時間数	-	2	-	_			
		科	目のね	らい・	到達目標	<b>三</b>	

映像・イベント・演劇など、何かを面白く作り上げることを演出と呼ぶが、その手法は媒体によってさまざまである。 それぞれについて実例を交えながら説明し、どうすれば効果的な演出になるか、学生に問いかけ、一緒に考えながら 授業を進めていく。

授業形態 講義 教室 161 教室 補助教員 なし

授業は講義形式で行う。場合に応じて PC をスクリーンに映し、演出例を提示していく。 また、グループワークなど能動的に授業に参加できる仕組みを展開していく。

教 科 書 教 材

なし

# 授業計画 · 内容

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

1~2回 前期オリエンテーション

2~4回 演出導入

5~6回 5W2Hとは

7~ 8回 PV, MV, VP などの違い

9~10回 バラエティ番組の演出技法

11~12回 ドキュメンタリー番組の演出技法

13~14回 報道番組の演出技法

15~16回 前期まとめ

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【後期】

17~18回 前期復習と後期オリエンテーション

19~20回 CMの演出技法

21~22回 ドラマの演出方法

23~24回 映画の演出技法①

25~26 回 映画の演出技法② 27~28 回 映画の演出技法③

29~30回 「演出」とは何か

31~32回 後期まとめ

評価コード 3

・定期試験(100点満点)の点数を成績の評定とする。筆記試験を80点、平常点(出席および受講の状況)を20点の配点とする。成績の評定は、S(90~100点)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、F(60点未満)である。定期試験が受験できなかった及び評定がFの場合、追試験を受験する。

・追試験(100点満点)の点数は、次の(1)または(2)とする。

# 評価方法

(1) 出席停止となる疾病(医師の診断書のある者)および通院が証明できる病欠、公共交通機関の遅滞等による者(証明書のある者)ならびに、公欠が認められた日時に定期試験を受験できなかった場合は、60点まではその点数とし、60点を超えた場合は、60点を超えた分の点数の10分の6に60点を加えた点数とする。

(2) 上述(1) 以外の場合は、60 点まではその点数とし、60 点を超えた場合は60 点とする。

・前期末試験および後期末試験を実施した場合、各期で確定した点数の平均(1点未満については切り上げ)を成績の評定とする。

7 10 10 XX 11 1 1 W	1上 少() 人 /	1 / 11 - 1					
科目名	映像制作実	習 2(A28)				教科区分	専門教育科目
						必修 / 選択	必 修
						実 務 経 懸	
担当教員	梅村泰成	・石黒 誠			[梅村]放送業 の知識・技術	表表で制作を経験 で活かし講義す	食してきた。培った編集 <sup>-</sup> る。
週授業	1年次	2年次	3 年次	4年次			
時間数	=	12	-	=			
	_	科	目のね	らい・	到達目	標	

映像制作を行うためにはどんな工程で、どのような考えで進めいけばいいのか、実際に映像制作を行いながら、その 方法を学ぶ。特に撮影・編集だけではなく、その前段階にあたる企画・構成にも力を入れていく。

授業形態 実習 教室 161教室 補助教員 なし

形態は実習形式で行う。映像制作における制作・技術を実践的に学ぶ。また、グループワークとして映像制作を行い、必要に応じて適宜講義を行っていく。後期の最後に集大成として、映像を制作し発表・講評を行う。

教 科 書教 材

貸与ノート型パソコン (授業内で適宜使用)

# 授業計画 · 内容

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

1~6回 ガイダンス(映像制作について説明)

7~20回 映像制作におけるカメラ応用技術①

21~30回 映像制作におけるカメラ応用技術②

31~40回 映像制作におけるカメラ応用技術③

41~50回 映像制作における照明応用技術①

51~62回 映像制作における照明応用技術②

63~74回 映像制作における音声・録音応用技術①

75~80回 前期まとめ

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【後期】

81~91回 前期振り返り、後期について説明

92~102回 撮影実践①

103~113 回 撮影実践②

114~124回 中間テスト

125~135 回 映像制作① 136~146 回 映像制作②

147~157回 映像作品発表・講評

158~160回 まとめ

⇒=: /==		1.0	4.0
評価	コー	F.	13

・100 点を満点とし、授業時間内における実技技能を 60 点とし、平常点(出席および受講の状況)を 40 点の配点にする。

## 評価方法

・すべての実習項目について合格点に達していることとし、合格点に達しなかった者および欠席した者は、追実習願を提出し、認められた者には指定した日時に追実習を行う。

・実習は、定期試験開始の前日までに終了させる。

人们教授守门际	生の豚バノ	1/11/4					
科目名	映像編集実	. MA O (V3U)				教科区分	専門教育科目
17 17 17	吹逐栅条大	:自 Z (A3U)				必修 / 選択	必 修
						実 務 経 5	
担当教員	安田 雄太				[安田]映像第	業界で制作技術を □識・技術を活か	と経験してきた。培った い、講義する
						中戚 文門で行び	* ひ呼我りる。
週 授 業	1年次	2 年次	3 年次	4年次			
時間数	-	8	_	_			
		科	目のね	らい・	到達目	標	

ノートパソコンを用いて、動画編集ソフト「Premiere Pro」「After Effects」の 操作習得を目指す。また、編集技法を用いた映像作品の制作を実践的に行う。

授業形態 実習 教室 161 教室 補助教員 なし

ノートパソコンを使用し、ジャンルに合わせた編集のテクニックを基本から応用まで磨いていく。編集ソフトを用い た作品制作も行う。

教 科 書 教 材

Premiere Pro よくばり入門・Affter Effects よくばり入門 インプレス 金泉太一 著貸与ノート型パソコン (授業内で使用)

# 授業計画 • 内容

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【前期】

- 1~4回 前期授業概要説明、映像編集について
- 5~10回 映像編集ソフトを用いた動画編集技術の応用
- 11~20回 Adobe Premiere Pro を用いた作品制作①
- 21~30回 Adobe Premiere Pro を用いた作品制作②
- 31~34回 BGM・SE を効果的に活用した編集応用実践
- 35~38 回 動画編集実習①
- 39~42 回 動画編集実習②
- 43~48回 前期まとめ

# ●授業時間:2単位時間/回

# 【後期】

- 49~52回 後期授業概要説明、前期の復習
- 53~56回 Adobe After Effects について
- 57~63回 映像編集の基本操作①
- 64~70回 映像編集の基本操作②
- 71~77回 Adobe After Effects を用いた作品制作①
- 78~84回 Adobe After Effects を用いた作品制作①
- 85~91回 動画編集実習(Premiere Pro、After Effects)
- 92~96回 後期まとめ

評価コー	K.	13
H-1-11111		1.0

# 評価方法

・100 点を満点とし、授業時間内における実技技能を60 点とし、平常点(出席および受講の状況)を40 点の配点にする。

・すべての実習項目について合格点に達していることとし、合格点に達しなかった者および欠席した者は、追実習願を提出し、認められた者には指定した日時に追実習を行う。

・実習は、定期試験開始の前日までに終了させる。